



The Vertigo Sound VSM-3

Vertigo Sound VSM-3 プラグインは、VERTIGO SOUND の Mix Satellite ハードウェアとして知られる VSM-2 を Brainworx によって忠実にモデリングされました。

VSM-3 の基本的な考え方とコンセプト

VSM-3 は、クリエイティブなミックス&マスタリング・ツールです。VSM-3 は、2 つの洗練されたカラーレーション・ジェネレーターと M/S 処理を行い、そしてオリジナル・シグナルにハーモニクスをブレンドするユニークなコントロールを提供します。

VSM-3 は、たくさんのツールをレコーディング、ミックス、マスタリングに提供します。

- ✓✓ 高速入力 & アウトプット・メーターと様々なレベル LED
- ✓✓ MS エンコーディング & デコーディング
- ✓✓ M、S とジェネレーター・シグナル用の AFL ソロ
- ✓✓ 2 基の独立したステレオカラーレーション回路
- ✓✓ ステレオ、M/S へのピュア 2nd、3rd ハーモニクス・ジェネレーション
- ✓✓ カラーレーションは、独立して M、S、または L、R に切り替え可能
- ✓✓ ジェネレーター・ユニットの直列、または並列動作
- ✓✓ 2nd と 3rd ハーモニクス間のクロスフェード

マスターを“クラッシュ、またはブレンド”することができ、埋もれた楽器や、ボーカル、ドラム、などの個々のトラックをクリエイティブにエンハンスすることができます。

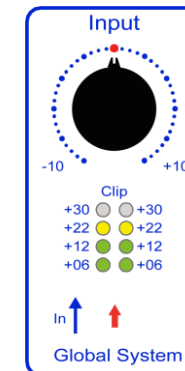
ハードウェアとプラグイン・バージョンの違い

VSM-2 ハードウェアのインサート・セクションは、“THD ミキサー”と“モニタリング”という 2 台の新しいモジュールに置き換えられました。この点がプラグインエミュレーションを VSM-3 と呼ぶことに決めた理由です。新しい機能については、以下に詳細を記載しています。

メーター・リファレンスレベル

デジタルドメインでの 0dBFS のレベルは、プラグインのユーザー・インターフェイスのピークプログラム・メーターでも +22dBu で表示されます。

ここでは、プラグインの様々なセクション概要を示します。





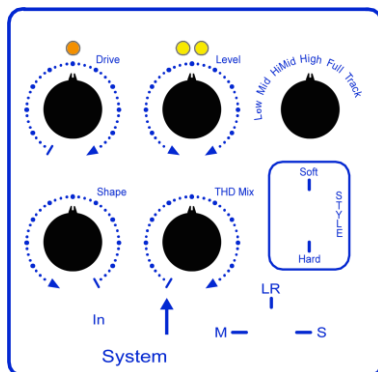
The Vertigo Sound VSM-3

インプット

12 時の位置からインプット・ノブの調整を始めます。後のステージのためのステレオ・レベルをトリムするためにインプット・ポットを使用して調節します。“Global System”スイッチは、VSM-3 のプロセッシング・チェインすべてのステージのバイパスです。

2nd ハーモニック FET クラッシャー

チューブ・サウンドは主観的に“ウォーム”や“リッチ”なサウンドであると表現されることがありますが、これはチューブアンプで発生する 2 次ハーモニック・ディストーションに起因するより高いレベルへの非線形リティ・クリッピングによる可能性があります。VMC-3 “FET クラッシャー”サーキットは、クラス A とトライオード・チューブステージをエミュレートし、ピュアな 2 時ハーモニクスを生成します。この多彩なカラーレーション、サチュレーション、ディストーション・サーキットは、多様性があります。



コントロールについて

System In

ハーモニック・ジェネレーターのバイパス・コントロールを行います。

Drive

インプットレベルとスレッショルドによってディストーション・ステージに“何”を“どれくらい”インプットするかを設定します。緑と赤の LED は、どれくらいのゲインが使用されているかを表示します。LED が赤く点灯している場合、ディストーションはソースにかなりの影響を与えています。

Input Filter

インプット・フィルターを使用すると、ハーモニック・ジェネレーターに送られる周波数のレンジを決定することができます。インプット・フィルターの各設定の周波数レンジについては、次ページの表を参照してください。注：“Track”モードは、個々の楽器を処理するように設計されています。このモードでは、THD ミックス・コントロールが無効になります。シェイプ・コントロールは、影響を受けたシグナルのアウトプットをフィルタリングします。シグナルのオリジナル(ドライ)シグナルはシェイプ・コントロールの影響を受けません。



The Vertigo Sound VSM-3

フィルター・モード

Low	10 Hz ~ 120 Hz
Mid	120 Hz ~ 1.5 k
HiMid	800 Hz ~ 4 k
High	4 k ~ 20 k
Full	120 ~ 20 k
Track	10 Hz ~ 20 k

LR & M / S セレクター

LR、または M、S のどれをハーモニック・ジェネレーターに送るか決定します(例えば、マテリアルの S の一部分の高域にのみハーモニクスを生成することができます)。プラグインがモノフォニックのトラックにインサートされる場合、このスイッチはグレイアウトし、使用できません。

Shape

シェイプは、ディストーションを生成する際に生まれたザラつきやあまりにもブライتناサウンドをソフトにするために設計されたハイカット・フィルターです。注:ディストーションの高域成分をカットしますが、ドライシグナルの周波数成分には影響を与えません。(THD ミックスがドライシグナルをミックスするために使用されている場合)

THD Mix

ドライ・シグナルとハーモニック・ジェネレーターのアウトプットをミックスするドライ/ウェット・コントローラーです。

Level

Full または、Track モードで動作しない場合、“Level”ポットは非常に重要

です。このレベルを使用するとマルチバンド・コンプレッサーと同様に 処理を行うバンドの新しいレベルを調整することができます。

Style

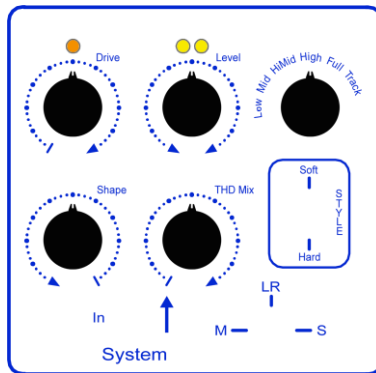
ハーモニック・ジェネレーターのスタイルをソフト～ハードの間で設定することができます。これはコンプレッサーのソフト / ハードニー・スイッチに似ています。非常に高い“ドライブ”(赤い LED が点灯)を使用すると処理がニーの外側で起こるので、両方の特徴は同じようなサウンドになります。

3rd Harmonic Zener Blender

“Zener Blender” は、3rd ハーモニクスを生成しますが、ドライブ量に応じていくつかの高い奇数ハーモニクスを生成します。これはペントオードがオーバーロードするようにドライブさせたものです。Zener サーキットは、より明るく聞こえさせ、サウンドのディティールを引き出します。そして、繊細なコンプレッションやリミッティングを与えます。

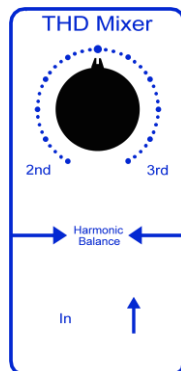


The Vertigo Sound VSM-3



ヒント

すべてのコントロールは、2nd h ハーモニック・ジェネレーターと同じです。上記の説明を参照してください。(2nd Harmonic FET クラッシャー)



THD Mixer

Parallel / Serial スイッチ

2つのディストーション・デバイスを並列で使用する場合、このスイッチを“parallel”に設定してください。このモードでは、2ndと3rdハーモニックをブレンドは“THD Mixer”ポットを使用してコントロールします。“Serial”モードに切り替えると、ミックス・ポットの設定を越え、最初に3rdハーモニック・ステージに続く2ndハーモニックステージにシグナルを送ります。

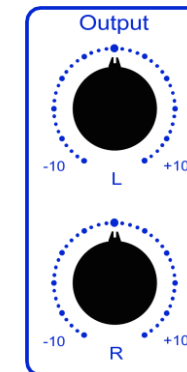
THD Mixer

パラレルモードでは、2ndハーモニック FET クラッシャーと3rdハーモニック Zener ブレンダーによって生成されたシグナルのバランスをコントロールすることができます。左側にミックス・ポットを回すと2ndハーモニック FET クラッシャーの割合が強くなり、右に回すと3rdが強くなります。オリジナルの VSM-2 ハードウェアはシリアルモードで動作し、パラレルモードはプラグインのみの機能です。ほとんどの場合、シリアルモードでの使用をお勧めしますが、パラレルモードで試すことにも価値があります。

ハーモニック Zener ブレンダーがオンになっていると、両方のシグナルの50%ずつを得るためにポットを12時の位置に回します。VSM-3をシリアルモードで使用している場合、THD ミキサーは効果がありません。



The Vertigo Sound VSM-3



モニタリング・セクション

MS Solo

“MS Solo”スイッチを使用すると、プラグインによって M/S エンコードされたアウトプット・シグナルのミッド、またはサイドのシグナルのどちらかをモニタリングすることができます。M/LR/S スwitchのそれぞれを押して M/S で処理されたシグナルのカラーを確認するために便利です。注：この機能はモノラルで使用しているプラグインでは使用できません。

Distortion Solo

シグナルが 2nd ハーモニック FET クラッシャー、または 3rd ハーモニック Zener ブレンダーのどちらか、または両方を使用したシグナルを単独でモニタリングする際にこのスイッチを使用します。

アウトプット

選択した設定のゲインをカット、またはブーストして補正することができます。ほとんどの状況では左右に同じゲインを適用しますが、緑色の LED をクリックすることで左右チャンネルのリンクを外し、独立してコントロールすることができます。注：リンクコントロールは、モノラルで使用されている場合には使用できません。

プリセット

VSM-3 の使用方法について学ぶ途中の場合、出発点として最適な様々なファクトリープリセットを用意しています。それらを基にドライブ、レベルを調整し、使用している素材で最適に動作するよう調整してください。M、または S でディストーション・プリセットを使用する利点は、ミックスやステレオバランスに依存することを覚えておいてください。